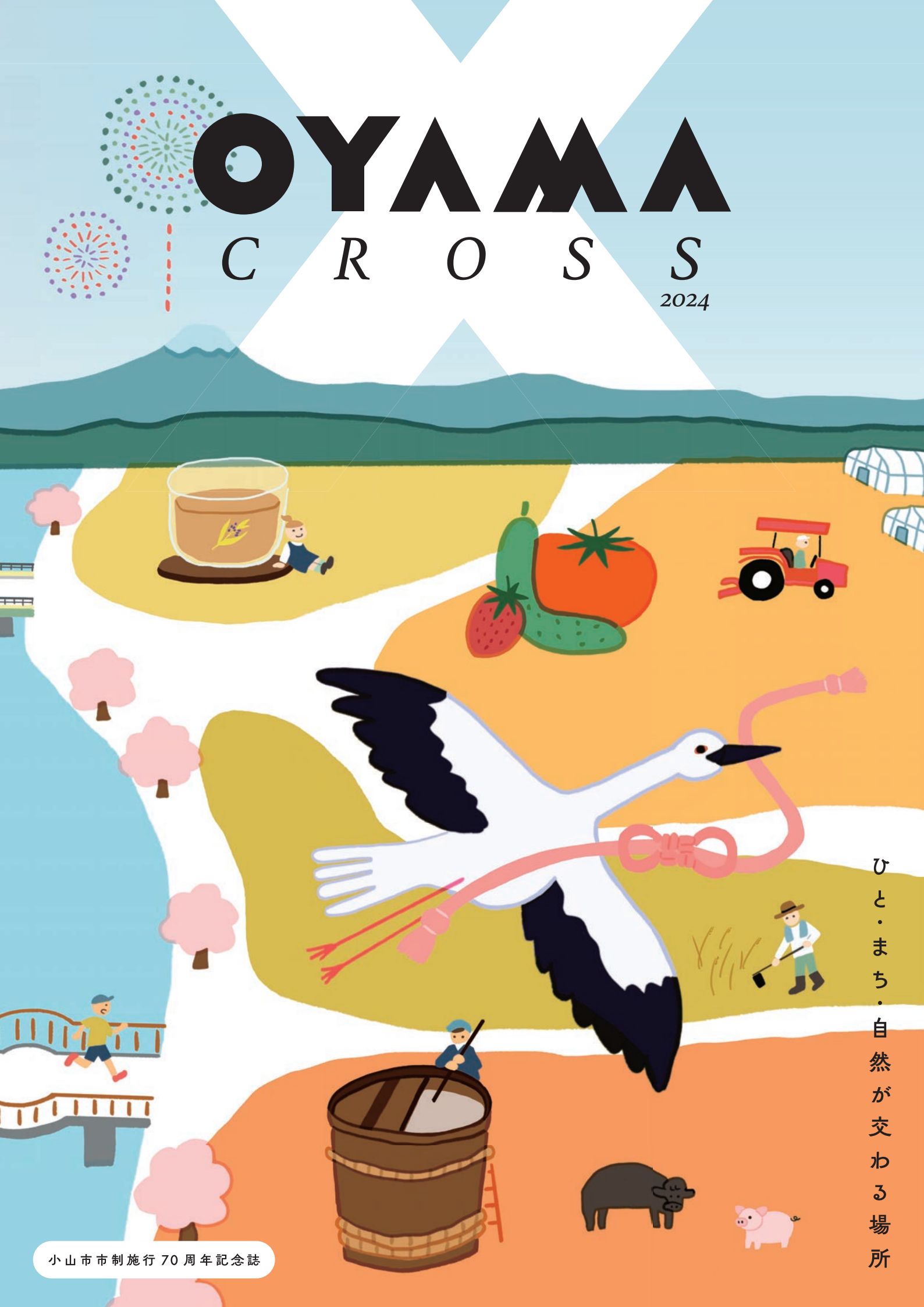


OYAMA

CROSS

2024



ひと・まち・自然が交わる場所



ひと・まち・自然が共生する

持続可能な田園環境都市おやまは、
市民一人一人が主役のまち。

**Oyama is a sustainable countryside city
where people, communities, and nature thrive in harmony
and every resident plays an active role.**



市長あいさつ

Greeting from the Mayor

田園環境都市おやまの未来に向けて



小山市長 浅野正富

Mayor of Oyama City
Asano Masatomi

小山市は、令和6年3月31日に市制施行70周年を迎えました。昭和29年3月31日に小山町と大谷村が合併して、小山市がスタートし、昭和38年に間々田町、美田村、昭和40年に桑絹町が合併し、現在の小山市となりました。市制70周年の節目にあたり、歴史と伝統を築き、市勢発展のため、これまでご尽力いただきました先人たちの功績をたたえとともに、市民の皆さまとあらためて本市の魅力を見つめ直す機会としてまいります。

本市は、コウノトリのヒナが5年連続で誕生するなど豊かな自然に恵まれ、東京から約60kmに位置し、国道や鉄道が南北・東西に貫く交通の要衝であり、農業、商工業のバランスが良く、都市環境と田園環境の調和のとれた魅力あふれるまちです。

これらの魅力を次世代に引き継ぐため、現在、市制100周年を迎える2054年の未来像を描く田園環境都市おやまビジョンのもと、市民が市政の主役となる、市民と共創するまちづくりをめざし、すべての市民のウェルビーイングの実現に向けて取り組んでいるところです。

この度、市制施行70周年を記念して、「小さな自慢が山ほどあります」に表現される本市の多彩な魅力を織り交ぜた記念誌を作成いたしました。取材や写真提供にご協力いただいたすべての皆さまに感謝を申し上げますとともに、この記念誌が、多くの方にとりまして、小山市に愛着を持ち、小山市に住みたい、住み続けたいという思いを抱いていただけるものになれば幸いです。



Oyama City celebrated the 70th anniversary of its establishment on March 31, 2024. As we reach the milestone of our 70th anniversary, we honor the achievements of our predecessors who worked so hard to build our history and traditions and contribute to the city's development. This anniversary also provides an opportunity for residents to rediscover the charms of Oyama.

To celebrate the city's 70th anniversary, we have created this commemorative publication that highlights Oyama's many charms, as expressed in the phrase, "Countless little things to be proud of." We hope that this publication will inspire many people to love Oyama and continue to or consider living here.

CONTENTS

- 6 **OYAMA** ✕ MAX 多彩な魅力が交差する 小山市へようこそ
- 8 **OYAMA** ✕ PEOPLE まちの魅力を引き出し 未来へつなぐ人たち
- 12 **OYAMA** ✕ SCENERY わたしの好きな小山市 ～30年後に残したい 小山の景色～
- 14 **OYAMA** ✕ AREA おやまの今を見つめる
- 20 **OYAMA** ✕ DATA 小山市の人口と財政
- 22 小山市70年のあゆみ

小山市市制施行70周年記念誌

ひと・まち・自然が変わる場所

OYAMA
C R O S S 2024
70th Anniversary Handbook 2024

令和6(2024)年10月
〒323-8686 栃木県小山市中央町1丁目1番1号
TEL:0285-23-1111(代表)
編集・発行:小山市総合政策部 まちの魅力推進課
制作:株式会社 文化工房

Published by Oyama City/ 2024
Chuocho, Oyama City Tochigi, Japan 323-8686
TEL:0285-23-1111

議会

City Council

市民の代表として、市政に市民の声を



議長 篠崎佳之

Chair
Shinozaki Yoshiyuki



副議長 小林英恵

Vice Chair
Kobayashi Hanae

小山市議会は、選挙で選ばれた議員で構成され、市民の皆さまの意見や要望を反映しながら、市の予算や条例の制定など、市民生活に関わるさまざまなことを審議し、決定しています。透明性の高い議会運営をめざし、議会は傍聴できるほか、ケーブルテレビやインターネット中継、議会だよりを通じて公開しています。

The Oyama City Council reflects the opinions and requests of the city residents while deliberating and making decisions on various matters, including the city's budget and ordinances that impact residents' lives. People are welcome to sit in on City Council meetings. They are also broadcast on cable TV and online, and the proceedings are shared through the council newsletter.



OYAMA CROSS (オヤマ クロス)

自然豊かな田園環境と活気あふれる都市環境、そして市民たちが交差し、生き生きと暮らしているイメージを表しています。小山市ならではの、多彩な魅力や歴史・文化とも交差しながら、より明るい未来へ進む市の現在の姿を紹介します。

市制70周年記念 ロゴマーク

市制70周年の周知と市の魅力を市内外にPRするためのロゴマークを作成しました。



市制70周年記念 PR動画

空からみた現在の市の姿や市の魅力、市民の笑顔を盛り込み、市のプロモーション動画を作成しました。

小山市公式
ホームページから
ご覧ください



多彩な魅力が交差する

小山市へ ようこそ

関東平野のほぼ中央、栃木県の南部に位置する小山市。市街地の周辺部には田園風景が広がり、コウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地である「渡良瀬遊水地」をはじめとする豊かな自然と、数多くの歴史的・文化的遺産を有し、農業・工業・商業の調和のとれたまちとして発展しています。

Oyama City is located in the southern part of Tochigi Prefecture, nearly in the center of the Kanto Plain. The urban area is surrounded by sprawling rural landscapes. The city boasts rich natural surroundings and numerous historical and cultural heritage sites, thriving as a community with a harmonious blend of agriculture, industry, and commerce.

Omoigawa Zakura



オモイガワザクラ

Oyama Yuen Harvest Walk



おやまゆえんハーヴェストウォーク

城山公園



Shiroyama Park

新幹線



Shinkansen

本場結城紬



Honba Yuki Tsumugi

小山評定跡



Site of the Oyama Council

Mamada no Jyagamaite



麦秋



Wheat Harvest

有機農産物



Organic Produce

小山の花火



Oyama no Hanabi

コウノトリ



Stork

Watarase Yusuichi



渡良瀬遊水地

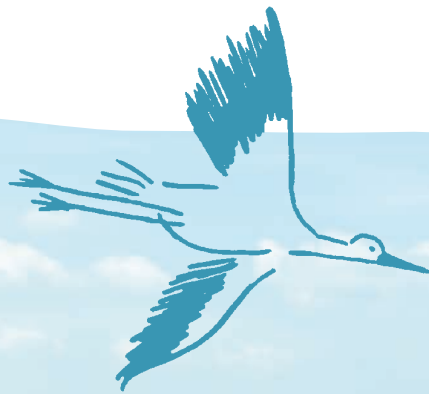
間々田のじゃがまた



オモイガワザクラ：小山市原産の名桜。花弁は10片ほどの半八重咲きで淡い紅色のかれんな花が特徴です／**麦秋**：麦が収穫期を迎えた初夏のころ。実った穂が黄金色に色づくことから「麦秋」と呼ばれています／**有機農産物**：「渡良瀬遊水地」の周辺水田で作られたふゆみずたんぼ米をはじめとした、農業や化学肥料に頼らずに作られた安全安心な作物／**おやまゆうえんハーヴェストウォーク**：緑豊かな屋外広場やメリーゴーランドがあり、バラエティ豊かな専門店が集まる大型ショッピングモール／**小山の花火**：小山市の夏の風物詩であり、小山市制施行前の昭和25（1950）年から続く長い歴史と伝統を誇る市内最大のイベント／**コウノトリ**：渡良瀬遊水地で令和2（2020）年に東日本初となる野外繁殖によるヒナが誕生して以来、5年連続で誕生しています／**新幹線**：北関東トップクラスの主要駅・小山駅には新幹線が停車。通勤や通学など都市への交通アクセスの利便性が高いです／**城山公園**：小山駅から徒歩10分の思川左岸に隣接し、国史跡の小山氏城跡にある、市民の憩いの場・桜の名所として長く市民に親しまれている公園／**渡良瀬遊水地**：平成24（2012）年にラムサール条約湿地に登録された貴重な動植物の宝庫です／**本場結城紬**：すべての工程を手作業で行う世界で唯一の絹織物。ユネスコ無形文化遺産・国の重要無形文化財／**小山評定跡**：関ヶ原の戦いで徳川家康に勝利をもたらしたとされる軍議「小山評定」が祇園城の一角で行われたと言われています／**間々田のじゃがまた**：巨大な蛇を担ぎ五穀豊穡を願う祭り。国の重要無形民俗文化財に指定

まちの魅力を引き出し 未来へつなぐ人たち

People connecting OYAMA's charms to the future



左から川崎康雄さん、門馬悠一さん、工藤東二さん

#1 貴重な生物多様性の場を多くの人に知ってほしい

洪水の多かった同地に治水目的で整備され、大正時代に完成した渡良瀬遊水地。100年もの時を経て現在は約1000種の植物・約1700種の昆虫が生息し、約260種の野鳥が行き交う生物多様性のフィールドとなっています。この貴重な自然を次世代へと伝えつなぐ活動をしているのが、同協会。市内の小学生をはじめとする来訪者を案内し、遊水地について、その役割や自然の希少性を解説しています。

「初めて渡良瀬遊水地を訪れた時、こんなに広々と素晴らしい自然が東京から60kmの場所にあることに驚き、すっかり魅了されてしまった」と話すのは同会代表の門馬悠一さん。「虫が苦手だった子が、遊水地で学んだ後は虫が好きになったと聞くこともあります。野鳥を間近に見た子どもたちが感動する様子を見ると、私もとてもうれしくなります」。近年の気候変動は渡良瀬遊水地の生態系にとっても大きな課題であり、「身近な遊水地を通して子どもたちが環境のことを学び、知っていくきっかけになれば」と語ります。

The Watarase Yusuichi retarding basin was completed during the Taisho period (1912-1926) for the purpose of flood control. It has become a biodiversity haven with around 1000 kinds of plants, 1700 kinds of insects, and 260 kinds of wild birds. The Oyama City Watarase Yusuichi Ecotourism Guide Association is actively working to preserve this valuable natural environment for future generations. The association guides local elementary school students and other visitors, explaining the role and rare natural elements of the basin. Climate change has become a major challenge in recent years for the ecology of the Watarase Yusuichi. Association representative Yuichi Monma shares, "We hope that children can learn about the environment through this familiar retarding basin."



市内の小学生や来訪者へのガイドのほか、イベント「ヨシ灯り」など多岐に渡る活動を行っています。



左から星野淑太さん、上岡胡桃さん、岡島あおいさん、鈴木紅羽さん

#2 ふるさと小山の魅力を高校生世代から発信！

小山市に関わる高校生が集まり、まちへの理解を深めると同時に、周囲にもまちの魅力を伝えようとさまざまな企画に挑戦する高校生まちづくりプロジェクト。小山に愛着が生まれれば、定住や将来のUターンにつながるのではないかという狙いのもとに令和3（2021）年よりスタートした取り組みです。高校生の柔軟な発想で毎年ユニークな企画が実施され、昨年は小山の花火の前夜祭にて駄菓子屋の出店も経験しました。

その際リーダー的役割を担った星野淑太さんは「地域活動の楽しさを実感できた経験。出店は初めてだったので大変な面もあったけどやりがいがあった」と話します。「プロジェクトを通して初めて自分の住むまちの楽しさを知った」と話すのは小山市在住の岡島あおいさん。市外から小山へ通学する鈴木紅羽さん、上岡胡桃さんは、「学年や学校を越えて活動し、仲良くなれるのがうれしい」と語ります。今年度はメンバーをぐんと増やし、より多様な意見が交わされるようになったとのこと。活動の勢いも加速しています。

The Senior High School Students Town Planning Project gathers students from Oyama to deepen their understanding of the city while challenging them to make various plans to convey the charms of the city and its environs. This project, which began in 2021, aims to foster a love for Oyama that could lead to young people choosing to settle in the area or eventually returning after moving away. Each year, the students come up with unique plans based on flexible ideas. Last year's projects including operating a small candy shop during the pre-event the night before the Oyama fireworks show. This fiscal year, the number of participants has grown significantly, bringing more diverse perspectives and accelerating the momentum of activities.



月1回、放課後にコワーキングスペースSEKENで活動し、さまざまなプロジェクトを企画・実践しています。

#3 「こども食堂」を地域に開き、孤食から共食へ



テレビで子どもの「孤食」のニュースに触れたことをきっかけに、地域の神輿仲間たちとNPO法人「笑光」を立ち上げた理事長の中山麗美さん。現在、小山城南市民交流センター「ゆめまち」をはじめとする市内3か所で、小中学生を対象としたこども食堂を開いています。開催は各所で月に2回ほどで、毎回平均90食ほどを提供。SNSで活動の情報を積極的に発信し、多くの食材を地域の方々からの寄付で賄っています。「孤食から共食へ」が私たちの活動テーマ。今後、市内の全学区にこども食堂を設置することが目標です」(中山さん)

The NPO "Ekou" currently runs three children's cafeterias in Oyama, serving inexpensive meals to elementary and junior high school students. The cafeterias are operated twice a month in each location, serving an average of 90 meals per time. Actively sharing their activities on social media, the organization receives donations from the local community for many food supplies. Board Chairman Remi Nakayama shares, "Our theme is 'From eating alone to eating together.' Our goal is to establish children's cafeterias in every school district in the city."



理事長・中山麗美さん

ボランティアスタッフから出来立ての温かいお弁当を受け取る子どもたち。「今日のメニューはなんだろう、近くの公園で遊んだ後、みんなで食べる予定」とうれしそうに話す子も。

#4 市民がまちづくりに参画する第一歩を後押し

20～40歳のメンバーが集い、「明るい豊かな社会」の実現に向けてさまざまな事業を企画・実施しています。議論を重ねて創出される事業の数々は市民の評価も高く、コロナ禍に感染対策を徹底して開催した「みらい創造キャンプ」は、参加者アンケートにおいて満足度100%を獲得。「社会課題に立ち向かった成果を実感できてうれしい気持ちでいっぱいでした」と理事長の磯山貴志さんは話します。「小山という素敵なまちを未来に残すためにも、活動を通してまちにポジティブな影響を与え、市民がまちづくりに興味を持つきっかけになればと期待しています」(磯山さん)

The Junior Chamber International Oyama, composed of members aged 20 to 40, organizes and carries out various projects aimed at creating a "bright and prosperous society." The chamber's many projects, created through discussions, have garnered high praise from city residents. Representative Takashi Isoyama says, "We hope to make a positive impact and spark interest in city planning among residents through our activities, ensuring that Oyama remains a wonderful city for future generations."



理事長・磯山貴志さん

今年も小山総合公園と旧豊田北小学校で開催された「みらい創造キャンプ」。「市の魅力を再発見」をテーマに、鮎のつかみ取りやマルシェなど、さまざまな体験イベントも開催され、たくさんの笑顔でにぎわいました。

#5 日本人と外国人、誰もが幸せに暮らせるまちに

「できることから始めよう！ 草の根レベルの国際交流」をモットーに、地域日本語教室運営、翻訳・通訳サポート、多文化体験イベントなどを展開し、多文化共生の促進をめざす同協会。「市内には8000人以上の外国人が暮らし、年々増加しています。日本語教室は需要が高く定員以上の申し込みがある状態。こうした中で国際理解を深めるには、企画から実施までを外国人の皆さんと協働することが大切」と会長の持田むつ子さん。「楽しい体験を通して日本人と外国人がお互いの理解を深め、小山市民として誰もが幸せに生活できたら」とめざす姿を語ります。

The Oyama International Exchange Association promotes multicultural harmony through activities such as local Japanese language classes, translation and interpretation support, and multicultural experience events. Representative Mutsuko Mochida says, "More than 8,000 foreign residents live in Oyama, and the number is growing each year. We hope that through enjoyable experiences, both Japanese and foreign residents can better understand each other, so that everyone can live happily as a resident of Oyama."



小山市国際交流協会



会長・持田むつ子さん

スリランカ出身の講師を招いた「世界の料理教室」では、2種のカレーと副菜、デザート作りに挑戦。さまざまな国籍の参加者が集まり、スパイスの香りと料理のおいしさを堪能しながら現地に思いをはせました。

#6 未来を担う子どもたちに安心安全な食と環境を

市内小中学校への有機給食の導入、市が所有する土地における除草剤不使用をめざし、令和2（2020）年に発足。市役所職員や有識者等を招いての勉強会、講演会などの活動に取り組んでいます。「発足メンバーは、自身も小さな子どもをもち、子どもたちに安心安全なものを食べさせたいと考えるお母さんたちが中心です」と話すのは会長の川村葉子さん。地域で開催する「小山っ子マルシェ」では有機食材の販売をはじめ、食育につながるワークショップなども実施し好評を得ています。「ぜひ多くの市民の皆さんに活動を知っていただき、参加していただけるとうれしいです」

The Association for Protecting the Future of Oyama's Children aims to introduce organic school lunches at local elementary and junior high schools and eliminate the use of herbicides on city-owned land. In addition to study sessions and lectures featuring city officials and experts, the association also sells organic food ingredients and hosts workshops on food education at the "Oyama Kids Market." Representative Yoko Kawamura comments, "We hope more residents become aware of our activities and join in."



会長・川村葉子さん

弘前大学名誉教授の杉山修一先生を講師に迎えた「第13回オーガニック講座」のテーマは「自然栽培入門-無肥料で作物が育つしくみ」。市内外の生産者・消費者が集まり、自然栽培への理解を深めました。



小山っ子の未来を守る会

わたしの好きな小山市

30年後に残したい 小山の景色

My favorite OYAMA scenery

市制70周年を記念し市制100周年を迎える「30年後に残したい小山の景色」を募集テーマに写真コンテスト「小山フォトコン2023」を開催しました。多数の応募の中から一般投票で選ばれた入賞作品を紹介します。

The 2023 Oyama Photo Contest was held with the theme "City Scenery We Want to Preserve for the Next 30 Years, Leading to the City's 100th Anniversary." Here are the winning photographs, selected by popular vote from many submissions.



最優秀賞

「子供の楽園」

Photo：ひろける

応募理由 ▶ いつもお世話になっている小山総合公園。今年（2023年）の秋に子供達と一緒に遊びに行った際に撮影しました。広い敷地で開催されている様々なイベントや、親子で自転車に乗れたり、楽しい遊具があったりと小山市民には昔から愛されている大切な場所を今後も残していきたいと思い応募させていただきました。



「どこまでも続く桜並木」

Photo：marilyn

応募理由 ▶ 2022年4月9日小山市の桜の名所である乙女河岸歴史公園で思川桜と菜の花のコントラストがとても素敵でタイミングよく満開の所を撮影することができました。市内で毎年訪れたいくなる素敵な場所なのでいつまでもこの風景が見られますようにと願いを込めて応募させていただきました。

佳作



優秀賞

「うさぎ見つめる コウノトリファミリー」

Photo：ガッキーさん

応募理由 ▶ 巣立ち前に撮影したコウノトリファミリー。足元に子供の頭がちょっとだけ見える。コウノトリが暮らす渡良瀬遊水地の自然を30年後に残したい。2023年6月4日、第2調節池にて。



「自然豊かな景色」

特別賞

Photo：melody.703

応募理由 ▶ 2023年11月25日に撮影した写真。黄金の稲と桜並木と気球。田んぼのある素敵な風景。自然が豊かなのも小山の良い景色だと思い、応募しました。



「心に届く プレゼント」

佳作

Photo：asmin

応募理由 ▶ 小さい頃から見慣れたメリーゴーランド。師走の夜の雨が、輝く姿や色合いが温かさやぬくもりを届けてくれる感じがして、これからも見ていきたい景色だと思い応募しました。



「間々田八幡宮の美しい和傘灯り」

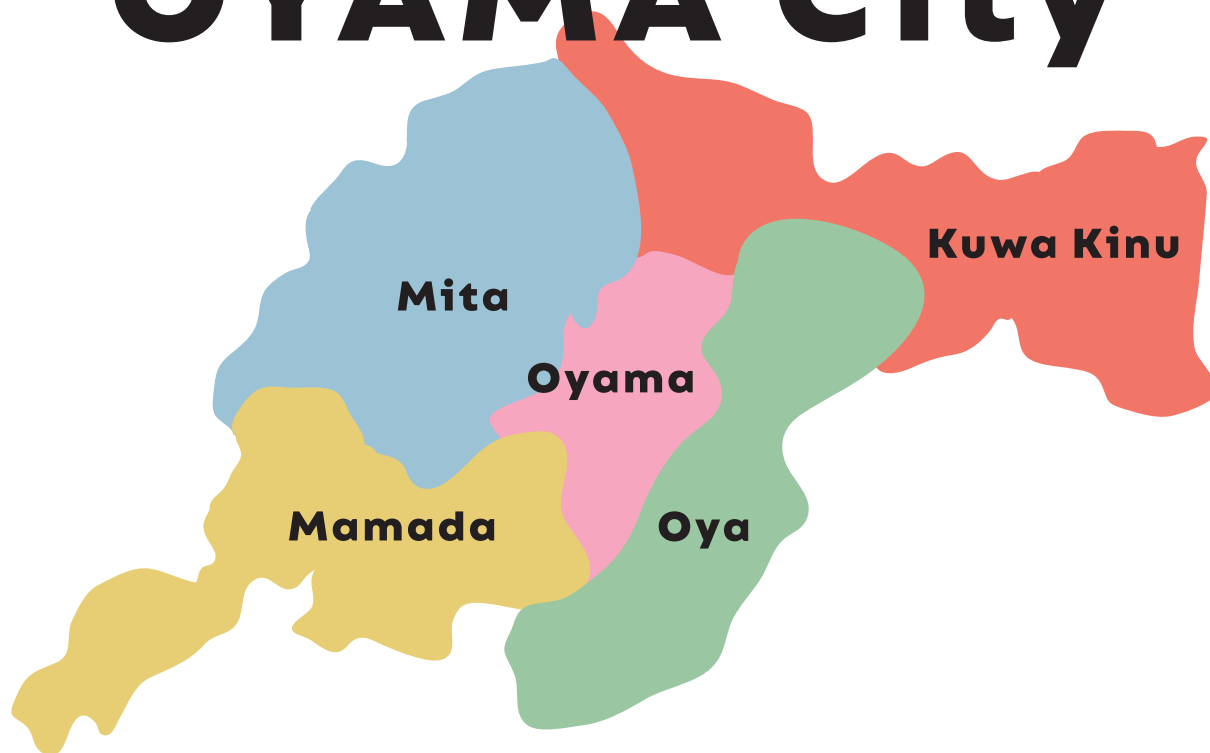
Photo：crazetaka

応募理由 ▶ 2023年11月に訪れた間々田八幡宮の和傘灯りです。幻想的な雰囲気でもとても美しい風景が見られる秋のイベントです。

佳作

おやまの今を見つめ
Reflecting on OYAMA today

OYAMA City



小山市では、市制100周年を迎える2054年を見据えて、「田園環境都市」をキーワードに、「こうありたい」「このようにしていこう」という未来ビジョンを描き、市民とともに「調べる」「学び合う」「対話する」を重ねながら、そこに向けて一歩一歩進んでいこうとしています。のどかな田園風景が広がる地域、都市としての発展が進む地域、平地林など豊かな緑が残る地域、多様な魅力を持ち合わせる小山市の今。

Looking ahead to the year 2054, when Oyama will celebrate the 100th anniversary of its establishment, we are forming our future vision of how we want the city to be and the actions we should take, with the key phrase of “countryside city.” We are progressing toward that vision step by step while researching, learning together, and engaging in dialogue with residents. Oyama today has diverse charms, including areas with tranquil rural landscapes, areas advancing in urban development, and areas with lush greenery like lowland forests.

市民の声を取り入れたまちづくりを

市では、30年後の市のあるべき姿を描き、市民・行政・企業等、本市に関わるすべての人々が共有していく「田園環境都市おやまビジョン」を、市民の皆さまと学び合い対話を重ねながら策定しています。



市民と職員（行政）がともに学び合い・対話する「おやま市民ビジョン会議」

小山地区

OYAMA

小山市の中心部に位置する地区。小山駅を中心に、繁華街や住宅街が広がるほか、行政施設や教育機関などがあります。祇園城跡や小山評定跡などの史跡も多く、思川に面した台地斜面は緑豊かで、市街地以外の多様な景観を持ち合わせているのも特徴です。



1



2



3



4



5



6



7



OYAMA City
OYAMA Area

- ①小山駅東口
- ②小山駅西口
- ③城山公園から眺める思川
- ④小山御殿広場
- ⑤須賀神社
- ⑥東城南小学校
(秋の交流祭)
- ⑦小山総合公園

大谷地区

OYA

年々、住宅地が広がり、都市化が進む一方で、都市公園や工場内などの緑地や平地林も多く、田畑が広がるエリアも残ります。世界でも有数の企業が入る工業団地や高等教育機関もある地区で、交通網が発達する交通量の多いエリアとなっています。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



OYA Area
OYAMA City

- ①大谷市民交流センター
「あいとびあ」
- ②平成通り
- ③プレイパーク109
- ④小山第一工業団地
- ⑤城東公園
(盆フェス2024)
- ⑥血方神社の稚児神楽
- ⑦大谷南小学校の大王松

間々田地区

(間々田・寒川・生井)

MAMADA

コウノトリが定着する豊かな大自然や、豊かな水と緑が美しい人々の癒やしの場である間々田八幡公園などがあり、間々田駅を中心に住宅地も広がります。間々田のじゃがまいた、花桶かつぎをはじめとして地域の伝統文化を守り、受け継ぐ地区でもあります。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



MAMADA Area
OYAMA City

- ①間々田八幡公園
- ②間々田ひも（組ひも体験）
- ③国の登録有形文化財
小川家住宅
- ④胸形神社
- ⑤花桶かつぎ
- ⑥渡良瀬遊水地
コウノトリ交流館
- ⑦生井ふるさと公園

美田地区

(豊田・穂積・中)

MITA

小山市の特産品が数多く並ぶ道の駅思川や県南公設地方卸売市場があるほか、米の乾燥から出荷までの一連を完結できる施設であるカントリーエレベーターがあり、農業が盛んな古くからの米どころ。美しい水田は同地区を象徴する風景の一つです。



1



2



3



MITA Area
OYAMA City



4



5



6



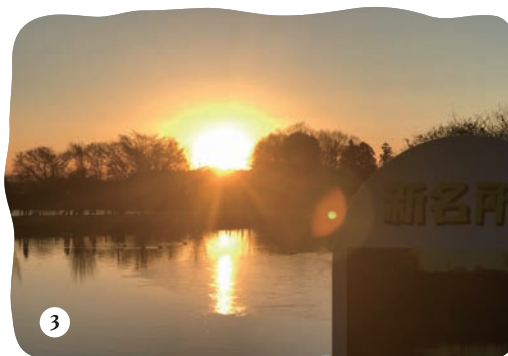
7

- ①小葉のコキア
- ②豊田小学校
- ③篠塚稻荷神社の流鏝馬
(やぶさめ)
- ④道の駅思川
- ⑤豊穂川の桜と菜の花
- ⑥大川島神社の弓引き祭り
- ⑦中小学校の水車

桑・絹地区

KUWA KINU

下野市や結城市と隣接する地区。多くの人でにぎわう大型商業施設がある一方、人々の憩いの場である大沼親水公園、旧石器時代からの歴史を感じられる寺野東遺跡があります。すべての工程が手作業で作られる世界に誇れる本場結城紬の産地としても知られています。



KUWA KINU Area
OYAMA City

- ①大沼親水公園
- ②東島田ふるさとの森
(自然観察会)
- ③ダイヤモンド筑波 in 大沼
- ④まり・びわ古墳はなまつり
- ⑤寺野東遺跡 (縄文まつり)
- ⑥絹ふれあいの郷
- ⑦高椅神社

小山市の人口と財政

OYAMA's population and finances

県内第2位の人口を誇るまち

A city boasting the second largest population in the prefecture

昭和29（1954）年の市制施行時の人口は、約8万人。徐々に交通の要のまちとしてにぎわいをみせるようになり、昭和44（1969）年には10万人、平成7（1995）年には15万人を突破しました。平成17（2005）年の国勢調査において、16万人を超え、栃木県内第2位の人口を抱える都市となりました。

人口

16万6,204人

令和6(2024)年9月1日

世帯数

7万3,116世帯

令和6(2024)年9月1日

1世帯あたりの
人数

2.3人

令和6（2024）年9月1日

人口密度

967.7人 / km²

令和6（2024）年9月1日

転入・転出

転入

転出

令和5（2023）年

7,788人

7,340人

令和4（2022）年

7,921人

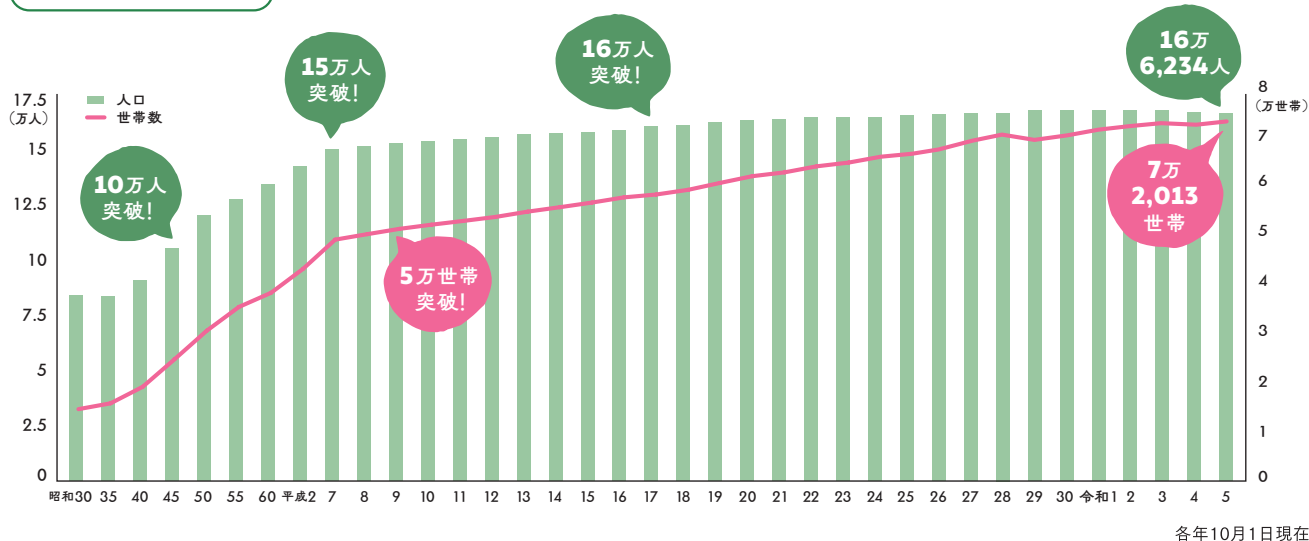
7,500人

令和3（2021）年

8,129人

7,931人

人口と世帯数の推移



将来も元気なまちを期待できる

A vibrant city with a promising future

2050年の
人口減少率将来推計
県内最小

2050年の
高齢化率将来推計
県内最小

2020年

2050年

人口

16万6,666人 >> **15万12人**

(人口減少率 10.0%)

高齢化率

2020年

2050年

25.3% >> **35.2%**

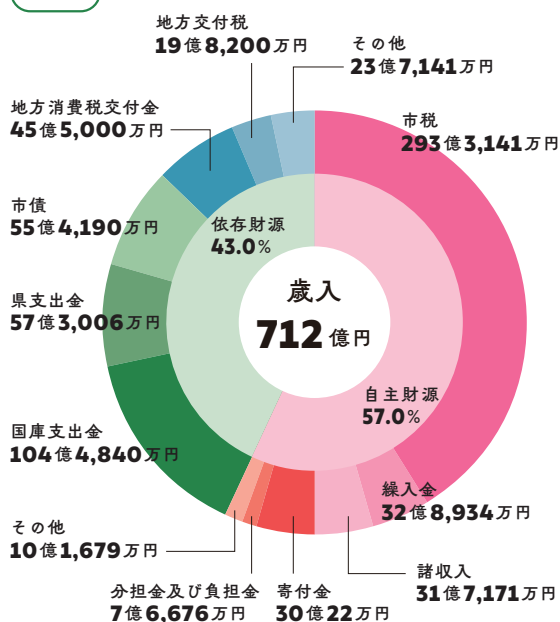
出典：国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口

一般会計

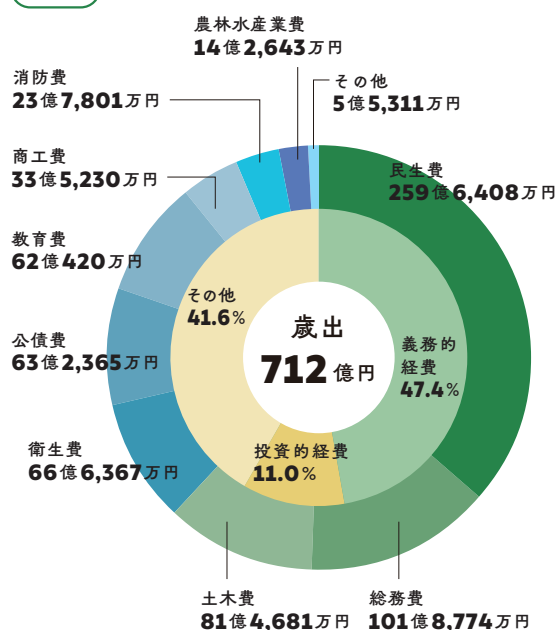
712億円

福祉、医療、教育や、道路・公園の整備など基礎的な行政サービスを行う会計です。市税は主にこの一般会計に使われています。

歳入



歳出



※円グラフや表の金額は、1万円未満を四捨五入したものであり、合計額が合わない場合があります。

OYAMA×365days

- 1月 ・ 小山の初市
- 2月 ・ 節分祭
- 3月 ・ ヨシ焼き
- 4月 ・ おやま二千本桜まつり
・ 最強ラーメン祭
- 5月 ・ 間々田のじゃがまいた
- 6月 ・ 酒蔵まつり (隔年)
- 7月 ・ 流しびな
・ 祇園祭
・ 小山の花火
- 8月 ・ おやま思川アユまつり
- 9月 ・ 小山のビールまつり
- 10月 ・ ヨシ灯り
・ ハンドベルフェスタ
・ 西口まつり
- 11月 ・ おやまバルーンフェスタ
・ 農業祭
・ きもの日
・ サイクルフェスタ
・ 市民文化祭
- 12月 ・ サンタウォーク
- ほか ・ ピクニックマルシェ (年数回)
・ おやまいち (ほぼ毎月)



Information

市の「キャッチコピー」&「ロゴマーク」

市の小さな自慢＝等身大の魅力をまとめて表現しています。市に関わるすべての方々が、小山市の魅力とともに発信していくためのシンボルとして作成しました。



市の紋章



市の花
オモイガワザクラ



市の木
シラカシ



市の鳥
セグロセキレイ



小山市 70年のあゆみ

OYAMA's 70 years of history



昭和29年
1954

小山町と大谷村の合併を祝う
パレード（星政一氏提供）



昭和53年
1978

東北新幹線試運転



平成5年
1993

小山市立中央図書館開館



平成15年
2003

第1回小山市中学生
ケアンズ市派遣

昭和29年 1954	- 小山町、大谷村が合併し小山市誕生 - 初代小山市長山中泰輔氏就任	平成元年 1989	市制施行35周年記念式典挙行
昭和30年 1955	- 豊田村、穂積村、中村が合併して美田村誕生 - 生井村が間々田町と合併	平成3年 1991	鶯城跡、祇園城跡が小山氏城跡として 国史跡に指定
昭和31年 1956	- 寒川村が間々田町と合併 - 桑村、絹村が合併して桑絹村誕生 - 結城紬が国の重要無形文化財に指定	平成4年 1992	- 健康都市おやま宣言 - 平和都市宣言
昭和33年 1958	東北本線上野～宇都宮間電化完成	平成5年 1993	- 小山市立中央図書館開館 - 県南公設地方卸売市場開場
昭和36年 1961	- 市街地開発組合が発足し、 工業団地造成に着手 - 桑絹村が町制を施行	平成6年 1994	- 駅西再開発ビル「ロブレ」オープン - 小山市立生涯学習センター開設 - 市制施行40周年記念式典挙行 - 小山市・本溪市「友好交流に関する協定書」 に調印
昭和37年 1962	小山第一保育所開所	平成7年 1995	- 人口15万人となる - 寺野東遺跡が国史跡に指定
昭和38年 1963	間々田町、美田村が小山市と合併	平成8年 1996	- 小山東出張所開所 - 第1回小山市中学生広島平和記念式典派遣
昭和39年 1964	- 小山市役所旧庁舎竣工 - 市制施行10周年記念式典挙行	平成11年 1999	市公式ホームページ開設
昭和40年 1965	- 国立小山工業高等専門学校開校 - 桑絹町が小山市と合併 - 小山バイパス（現国道4号）開通	平成12年 2000	- 小山市長に大久保寿夫氏初当選 - テレビ小山放送開局
昭和43年 1968	- 中央町にX字型歩道橋完成 - 小山高校が甲子園初出場	平成13年 2001	- 男女共同参画都市宣言 - 中久喜城跡が小山氏城跡の一つとして、 国史跡に追加指定 - 桜の里親制度開始 - 第1回小山市中学生本溪市派遣
昭和44年 1969	人口10万人となる	平成14年 2002	小山西高校が甲子園初出場
昭和45年 1970	小山市長に栗田政夫氏初当選	平成15年 2003	第1回小山市中学生ケアンズ市派遣
昭和46年 1971	市旗制定	平成16年 2004	- 市制施行50周年記念式典挙行 - 小山評定ふるさと大使制度創設
昭和49年 1974	市制施行20周年記念式典挙行	平成17年 2005	人口16万人を突破し、 栃木県内第2位の都市となる
昭和51年 1976	小山高校が春の選抜高校野球で準優勝	平成18年 2006	- 小山城南出張所開所 - 道の駅思川オープン - 小山市・ケアンズ市「姉妹都市盟約書」に 調印 - 第1回小山市高校生紹興市派遣 - 絹ふれあいの郷オープン
昭和53年 1978	- 市民憲章、市の花、市の木、市の鳥、市歌制定 - 中央市民会館開館 - 摩利支天塚古墳、乙女不動原瓦窯跡が 国史跡に指定	平成19年 2007	- まちの駅思川彩館オープン - 小山市文書館開館
昭和55年 1980	小山市民病院開院	平成20年 2008	- 小山地区夜間休日急患センター開設 - 環境都市宣言 - 小山市バスネットワーク整備完了
昭和57年 1982	東北新幹線小山駅開業		
昭和58年 1983	小山市立博物館開館		
昭和59年 1984	- 市制施行30周年記念式典挙行 - 小山市長に小林武夫氏初当選		
昭和61年 1986	白鷗大学開校		
昭和63年 1988	- 小山市長に船田章氏初当選 - 小山聖苑竣工		

平成21年 2009	・間々田市民交流センター「しらすぎ館」開館 ・小山市立車屋美術館開館 ・小山市・紹興市「友好交流関係都市に関する協定書」に調印
平成22年 2010	・大沼が国の「ため池百選」に選定 ・結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録 ・小山市民農園開園
平成23年 2011	・平成23年3月東日本大震災 ・思川駅自由通路、南北駅前広場、北口アクセス道路が開通
平成24年 2012	・第1回小山市中学生紹興市派遣 ・小山駅中央自由通路「さくら道」開通 ・渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録 ・ロンドンオリンピックの競泳にて萩野公介さんが銅メダル獲得、柔道にて海老沼匡さんが銅メダル獲得、両氏に市民栄誉賞授与
平成25年 2013	・新小山市市民病院開院 ・小山城南市民交流センター「ゆめまち」開館 ・市内最高層の建築物「城山・サクラ・コモン」竣工 ・小山市市民活動センター「おやま〜る」開設 ・子育て支援総合センター開設 ・新消防庁舎開庁 ・小山きもの日実施
平成26年 2014	・小山駅東口新駅前広場完成 ・スポーツ都市宣言 ・結城市と友好都市盟約締結 ・市制施行60周年記念式典挙行 ・第2次小山市長期ビジョン策定
平成27年 2015	・小山市健康医療介護総合支援センター開館 ・小山御殿広場リニューアルオープン ・平成27年9月関東・東北豪雨
平成28年 2016	・新小山市市民病院新築移転 ・住民票の写し等のコンビニ交付開始 ・絹分遣所開所 ・桑市民交流センター「マルベリー館」開館 ・小山地区定住自立圏形成協定締結 ・キッズランドおやま、本場結城紬クラフト館がロブレに同時オープン ・リオデジャネイロオリンピックの競泳にて萩野公介さんが金・銀・銅の3個のメダル獲得、柔道にて海老沼匡さんが銅メダル獲得 ・第4回生物の多様性を育む農業国際会議（ICEBA2016）が小山市で開催
平成29年 2017	・絹義務教育学校開校 ・小山市・台湾高雄市教育局及び経済発展局「友好交流協力に関する提案書」に調印 ・関東とまんなかサミット会議へ加入 ・コミュニティFM局「おーラジオ」開局 ・とちぎ結婚支援センター小山開設
平成30年 2018	・渡良瀬遊水地にコウノトリ「ひかる」が定着 ・桜の里親 思川桜2000本達成 ・最強ラーメン祭が初開催 ・国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館開館 ・小山市開運スポーツ合宿所開所

平成31年 2019	・「間々田のじゃがまいた」が国の重要無形民俗文化財に指定 ・東城南小学校開校
令和元年 2019	・ソプラノ歌手森谷真理さんが「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」にて国歌独唱 ・日本和食サミット2019 in 小山が開催 ・栃木ゴールデンブレーブスがBCリーグチャンピオンシップを制し、初のリーグ優勝 ・市制施行65周年記念式典挙行 ・桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと開館 ・令和元年10月東日本台風
令和2年 2020	・小山市新型コロナウイルス感染症対策本部設置 ・第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 ・渡良瀬遊水地で東日本初の野外繁殖によるコウノトリのヒナ誕生 ・渡良瀬遊水地コウノトリ交流館開館 ・小山市長に浅野正富氏初当選
令和3年 2021	・第8次小山市総合計画策定 ・小山市の新キャッチコピー＆ロゴマーク決定 ・第1回小山市民フォーラム開催 ・東京オリンピック聖火リレーが小山市内にて実施 ・小山市役所新庁舎開庁 ・小山市立体育館開館 ・東京パラリンピックの車いすバスケットボールにて高杉義伸さんが銀メダル獲得、同氏に市民栄誉賞授与 ・ふるさと納税寄附受入額が初の県内1位（令和2年度分） ・第20回全国菜の花サミット in 小山が開催 ・分散型による花火大会開催（令和4年も同様開催）
令和4年 2022	・間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会が合併し、小山市おもいがわ商工会が発足 ・豊田小学校開校 ・2022 サイクルフェスタ〜走ってみよう おやま・のぎ〜が開催
令和5年 2023	・オーガニックビレッジ宣言 ・小山市パートナーシップ宣誓制度導入 ・感染症法における新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行 ・サイクルフェスタ〜走ってみよう おやま・のぎ・とちぎ〜 2023 が開催 ・ゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言
令和6年 2024	・小山市ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進プラットフォーム設立 ・結城市と友好都市盟約締結10周年 ・与良川統合排水機場竣工 ・ふるさと納税寄附受入額が40億円突破（令和5年度分） ・間々田八幡公園リニューアルオープン ・小山市こども家庭センター開設 ・大谷市民交流センター「あいとびあ」開館 ・城山公園リニューアルオープン ・市制施行70周年記念式典挙行



平成28年
2016

新小山市市民病院新築移転



令和3年
2021

小山市役所新庁舎開庁



令和3年
2021

小山市立体育館開館



令和5年
2023

オーガニックビレッジ宣言



令和5年
2023

ゼロカーボンシティ&
ネイチャーポジティブ宣言

